



ご家族に囲まれて  
百歳を迎えられました



(鹿は長寿の象徴です)

こじか荘かわら版  
秋



ご家族・ご利用者・職員みんな  
こりゃ〜、ほんまにおめで



(タイ)

妻として、母としてご家族を支えてこられた加藤さん。大正、昭和、平成と激動の時代を歩んでこられた人生の軌跡に感謝と敬意を表したいと思います。これからも茶寿、皇寿とお祝い出来る事を楽しみにしています。



三次市長

百歳祝賀表敬訪問



**通所**

「折り紙クラブ」

「夏祭り」

「喫茶 かすみ草」

「手芸クラブ」

**特養**

「夏祭り」

「手作りおやつ」

「秋の運動会」

お楽しみ会

新しい仲間です



介護士 田原 史子

介護の仕事始めて約三年。二次に引越して来て約半年。出来るだけ早く環境に慣れるようにがんばります。みなさんよろしくお願致します。



介護士 天野 好恵

家庭の事情で今年二月末で退職し家で過ごしていましたが、もう少し働きたいと思い介護士としてこじか荘に就職させて頂きました。利用者の方々と年齢が近くなり、少しでも寄り添えるように頑張ります。

### お知らせ



#### 感染症対策について

季節の変化と共に、感染症が心配される時期になってきました。面会にお越しの際は、手洗い・うがいのご協力をお願い致します。また、食べ物などのご持参はお控えください。しばらくの間、ご協力をよろしくお願い致します。

#### 施設時間変更と面会時間について

防犯対策の一環として、10月より夕方からの施設時間を変更しています。  
・玄関施設時間→18:00  
その為、面会については18時までに終えるようにお越しく下さい。尚、施設後は玄関横のインターホンを押していただくと職員が対応いたします。ご不便をお掛けしますがご協力をお願い致します。

今年度はこの企画です!

## いつもお世話になっている ボランティアさんを紹介します!

特集!

年に3回~4回、ご利用者のシーツ交換ボランティアに来てくださるむすび会とやすらぎ隊のみなさんです。50床のシーツ交換は本当に大変ですが、毎回みなさんの細やかな作業に職員一同本当に感謝をしています。和やかに颯爽と作業をされるみなさんは、まるで「シーツ交換の必殺仕事人や〜♪」



やすらぎ隊のみなさん



むすび会のみなさん



### 感恩戴徳

(かんおんたいとく)  
雨ニモ負けず 風ニモ負けず  
長きに渡る ボランティアの心より 感謝しています。

こじか荘の中にはボランティアの方をご存じのご利用者もおられ、「今日はどこから来てんかいね?」と楽しみにされています。こじか荘にとってボランティアの活動は単に「手伝いをしてもらおう」だけでなく、施設への刺激、職員への刺激、ご利用者との関わりで刺激を頂いています。ボランティアはこじか荘の宝です。その宝をいつまでも大切にしていきたいと思えます。むすび会、やすらぎ隊のみなさま、今後ともよろしくお願い致します。



第14弾

# こじか荘の職員自慢!

## 「おめでとう感謝」



支援課長  
稲田 かおり

何も取柄のない私…。短大を卒業し、こじか荘へ就職。気が付けば三十二年。特養、デイサービスでの介護経験が今のケアマネの基になっています。

施設という集団の中での対人援助と家庭に向向いての対人援助では大きな違いがあり、壁にぶつかれることも多く、苦手なケースもありました。しかし、苦手な人こそ自分から向かうこと。その感情はどこから来ているのか、常に自分を振り返ることと教えられました。

また、「家族や支援に当たる他事業所等との出会いも私にとって大きい存在です。例えば、風呂焚きでも今まで出来ていたことはさせてください。」と言われたご家族。火事になればご近所に迷惑をかけてしまう、地域で過ごしてもらいたいからこそ、支援者として避けてしまうこともありました。しかし、「家族のその言葉で、支援者の防衛であり、利用者本意の支援ではないことに気づかされたと同時に、ケアマネとして勇気ももらいました。」

こういった関係機関との出会いがあり、自宅での看取りに取り組みすることも出ています。今、いざつて外に出られる認知症の一人暮らしの方を支援しています。ごにも行きたくない、「ごで死にたい」と切望され、その思いを受け、その人らしく生きぬくために、私たちはどうするべきかと常に問いかけながら、自宅で看取ると覚悟を持ったチームケアです。人との向き合い方、生きることの大変さ、老いていくことの苦しさ、楽しみ、自宅へのこだわり、生き方と終わり方など考える機会をもらっています。

この出会い、この環境に感謝し、今後の支援に活かしていけたらと思っています。



日々、ご利用者と真つ向から向き合う稲田ケアマネ!

## 利用者作品紹介

### 特養



佐伯 文子様 (85歳)

「手先を動かすことが好きなんよ。」と言われる佐伯さん。今回の紅葉の折り紙は、比較のみやすく出来たそうです。折り紙以外にも縫物もお好きとのこと。「今度は書道をしてみたい。」とおっしゃっていました。



加川 眞吾様 (86歳)

私は若い頃から三年連続日記帳を書いています。山の芋を育てるために行程を見返したり来年の為に今年の状況を書き込んだりする為です。この日記帳は本当に良く出来ています。

皆さんも是非使ってください!

## お礼

10月9日(日)

ご家族との大掃除には多数のご参加をいただきありがとうございました。職員一同、心より感謝しております。

## 編集後記



編集委員  
丸田 竜士

まだ終わらないカーブの戦い! 私たちも日本一への道を共に戦い祝いの美酒に酔いしれたいですね。そんなこんなで、こじか新聞をお楽しみくださ~い!

## ボランティア

あしがなつた



ボランティア係り  
介護士 熊谷裕子

9月 27日 鮎谷 美紀枝様 散髪)

8月 27日 やすらぎ隊 ヌーツ交換)

7月 16日 むすび会様 ヌーツ交換)

3日 ひまわり会 ひまわり一座